

# 松戸市立病院だより

編集・発行：松戸市立病院広報委員会 〒271-8511 松戸市上本郷 4005 番地

TEL047-363-2171 (代表) <http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

## 新任のご挨拶

人工関節センター長 河本泰成

「人工関節」という言葉はこれまでお聞きになったことがある方も多いと思います。「人工関節」とは何らかの原因で不具合が生じた関節に人工で作られた関節を入れ替える手術ですが、日本では高齢化社会になるにつれて「人工関節」の注目度が益々高くなっています。最近の統計によると日本では人工膝関節置換術が2010年では約7万件、人工股関節置換術が4万件と報告されています。全体の割合では人工膝が60%、人工股で37%と膝と股関節で97%を占め、あとの3%は人工肩、人工肘などです。人工膝、人工股ともにこの10年で手術件数は倍になりました。ここでは人工膝関節、人工股関節についてご説明いたします。

膝関節は大腿骨、膝蓋骨、脛骨からなる関節ですが、変形性膝関節症や関節リ



ウマチなどによる病気で軟骨が摩耗消失すると、立ち上がりや歩行、階段昇降が困難になります。症状が初期の場合はヒアルロン酸注射、装具療法、消炎鎮痛剤などの保存療法で治療する場合があります。

## もくじ



◆ 「新任のご挨拶」	河本 泰成	1
◆ 「新任のご挨拶」	齋藤 洋子	3
◆ 「新任のご挨拶」	庄古 知久	4
◆ 「院外処方せんの変更について」	生島 五郎	5
◆ 「HCUのご案内」	吉岡 伴樹	6
◆ 「糖尿病について」	時永 耕太郎	7
◆ 「診療予約のご案内」	地域連携課	8

すが進行すると、軟骨が消失するだけでなく関節の変形や骨そのものが削られてくる場合があります、そうすると日常生活に支障をきたします。人工膝関節は大腿骨、脛骨の関節表面に金属（コバルトクロムやチタンなど）で作られた軟骨そっくりの人工関節で表面置換する手術です。クッションにあたる部分は高分子ポリエチレンで作られ、これにより術後早期に痛みが良くなり、関節の動きも改善し、歩行がぐんと良くなります。

股関節では変形性股関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死などの疾患で軟骨が消失し変形が進行すると、膝関節と同じように歩行に支障をきたし、保存療法で効果がない場合には人工股関節置換術の適応となります。人工股関節は大腿骨の髓腔と屋根にあたる臼蓋側に人工関節を設置します。軟骨に相当する部分は高分子ポリエチレンやセラミックからなるライナーをクッションとして設置します。これによりこれまで耐えられなかった痛みから解放され、以前と同じような日常生活に復帰できます。

膝関節、股関節それぞれの人工関節手術を受ける年齢は60歳以上とこれまでは言われてきておりました。それは手術後にポリエチレンの摩耗や人工関節のゆる



みは術後10年から20年で数割の患者さんにみられ、再手術を受

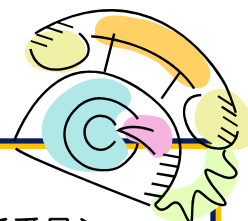
けるのが現状であったからです。しかしながら近年では人工関節のデザインやクッションであるポリエチ



レンなどの性質が格段に改善され「30年もつ人工関節」も夢でなくなりつつあります。これにより50歳台の患者さんも手術を受けられるようになってきました。この10年で人工関節件数が倍増したのは高齢化社会も背景にあります。なにより手術後に以前より痛みのない日常生活に復帰でき、旅行なども楽しめるようになった方がますます増えたのが一番の要因だと思われま

す。当院の人工関節のスタッフは私と、整形外科部長の飯田哲医師、鈴木千穂医師が重点的に人工関節手術に携わっております。

入院期間は人工膝関節で3～4週間、人工股関節で2～3週間です。その他に人工肘関節置換術、人工肩関節、足指人工関節も施行しております。当院受診される際はかかりつけの先生の紹介状をお持ちになって受診されることをお勧めします。外来診療日は月曜日・火曜日・水曜日ですが、お電話にてご予約も受け付けておりますのでご利用ください。



～人工関節センター電話予約について～

<受付時間>

木曜日・金曜日の午後2時～午後4時

<整形外科外来専門電話番号>

047-363-4114

※当院を受診される際は、かかりつけの先生の紹介状をお持ちになって受診されることをお勧めします。

## 新任のご挨拶

副院長兼看護局長 齋藤 洋子

当院は昭和25年に創立され、60年以上にわたり東葛地域の高度医療、救急医療、小児医療を担う613床の基幹病院として、松戸市民の皆様の厚いご支援をいただいております。

私は、今年の3月まで、30年以上にわたり大学病院で勤務してまいりました。手術室、ICU、外科病棟、内科病棟、外来、中央診療部門と診療部門を幅広く、そして最後は医療安全管理を3年間経験させていただきました。この経験を生かし、当院において、より質の高い医療および看護を提供できるよう尽力するという使命をもって、副院長兼看護局長として迎えていただきました。

看護局は、これまで“固定チームナースィング”という看護方式を取り入れてまいりましたが、今後は、患者さんによりきめの細かい質の高い看護を提供できるよう、患者さん一人ひとりに受け持ち看護師が付いて個別的なケアが行える“受け持ち制看護”を目指したいと思います。

そして一人ひとりが能力を十分に発揮でき、やりがいを持って働くことができる魅力ある職場にしていきたいと思っております。忙しい中であっても、小さなことにも「感謝」の心を持ち、「挨拶」と「笑顔」と「やさしさ」が自然にあふれるような、安心で、癒される病院にしたいと思います。また、雇用の質の向上を図るためのワーク・ライフ・バランスの支援にも取り組んで参りたいと思います。

看護局の理念として「私たちはすべて

の人から信頼される安心な看護を目指します」を掲げました。病院の理念の「すべての人から『ここに来てよかった』と思われる病院を目指します」とあわせて、当院で働くことになお一層の誇りがもてるよう取り組んでまいりたいと思います。



今年の4月に着任して以来、一番に困っていることは看護師不足です。

本来、三次救急を担う急性期病院としては看護師を7：1看護に増員し、2交代勤務の取り入れにより、患者さんへの看護の充実と看護師の働きやすい労働環境を整える必要があります。また、病院の経営的自立から、7：1看護の看護師確保が急務となっております。しかし、10：1看護の看護師確保にも窮しているのが現状です。関東地方、中でも千葉県は人口比における看護職員数が最下位から3本の指に入るほど不足しており、看護師確保には困難を極めております。病床をフル稼働して一人でも多くの患者さんを看護できますよう、目下、病棟看護師の確保に取り組んでおります。



いりませんが、今後は、患者さんによりきめの細かい質の高い看護を提供できるよう、患者さん一人ひとりに受け持ち看護師が付いて個別的なケアが行える“受け持ち制看護”を目指したいと思います。

### 「看護局の理念」

私たちは  
すべての人から信頼される  
安心な看護を目指します





# 新任のご挨拶

救命救急センター長 庄古 知久



救命救急センターをご存じでしょうか。皆さんが急な病気やケガをされた時に受診する救急医療施設には、3つのタイプ（1次救急から3次救急）があります。この中で最も重症な患者さんを24時間受け入れて治療する3次救急医療施設が救命救急センターです。診療の対象としている患者さんは、救急隊が重症と判断した患者さんや2次救急医療施設から紹介により救急車で搬送される患者さんです。原則、患者さんの希望により当センターを受診することは出来ません。但し当院は小児科、産婦人科受診の方や、かかりつけの方の救急対応はおこなっています。救命救急センターは全国に245カ所あります。千葉県内には10カ所あり、当院もこの内の一つです。重症患者さんは松戸市からはもとより、市川市、流山市、県外の三郷市や東京都などからも搬送されて来ます。遠方から来る3次救急の患者さんは、近くに受け入れ可能な救命救急センターがなく当センターに搬送されるため、救急隊からは非常に感謝されています。当センターには入院治療をする専用ベッドとして集中治療室

(ICU)に6床、救命病棟に20床が指定されています。24時間重症患者さんが搬送されてきますので、常に必要数の空きベッドを確保しておかなくてはなりません。そのため生命の危機が回避されたと判断された患者さんは、他の病院に転院していただく事になります。何とぞご理解ご協力ください。

重症患者さんの救命処置や、複数の診療科にかかわる病気に適切に対応するためには救急を専門とする特別なトレーニングを受けた医師、救急医が必要です。当センターには私を含め4名の救急医が常勤しており、各専門診療科の医師の協力を得ながら日夜、救命医療に従事しております。救急医は外来での緊迫した場面での救命処置の実施や迅速な診断をつける事のみならず、入院後の集中治療の現場においても主治医として診療しています。特に多発外傷や心肺停止蘇生後、ショック、敗血症、急性中毒、重症熱傷などの救急医が扱う疾患の集中治療には高度な救急の専門知識が必要です。そしてこのような疾患の患者さんは昼夜問わずに容体が変わりますので、24時間目が離せません。

また外傷などの一刻を争う緊急手術の際には、救急医が執刀医として手術をおこないます。特に身体多部位にわたる外傷の際は、救急医が治療の優先順位を決め、救命のための戦略を立てて治療に臨みます。患者さんの状態が非常に悪い場合は、Damage Control Surgeryといって、止血処置などの最低限必要な手術のみをおこない、一旦集中治療室に移動して全身状態を回復させてから、数時間後に再度手術をおこなう事もあります。現代の外科医はその専門が臓器別に細分化されており、一人の外科医で複数の臓器損傷に適切に対応することは困難を極

めます。多発外傷の診療に長けている救急医の存在は救命救急センターにおいて無くてはならないものです。

救急医は病院内の診療だけに留まらず、DMAT(Disaster Medical Assistant Team の略)という大災害の発生時に被災地で救急活動をおこなう医療チームに参加し、様々な外傷や急病を治療する活動もおこなっております。昨年の東日本大震災の際には当院のDMATも現地に赴き、全国から集まった他のDMATと共に被災者の方々への医療支援をおこないました。遠隔地のみならず、病院近隣での災害や交通事故等にも現場出動することがありますので、病院の外で松戸市民の皆様とお会いする事があるかもしれません。

まだ救急医という専門医師は市民の皆様には馴染みが薄いかもかもしれませんが、医師の専門分化が著しい現代の医療界に

おいて、いろいろな専門分野の急病に幅広く対応し、重症患者さんの治療が出来る救急医



は全国的に広く求められています。通常の病気や癌の治療などの際は、患者さんが病院を選ぶ事はある程度可能です。しかし予期し得ぬ急病や交通事故などの際は病院を選べません。我々救急医は意図せず運ばれて来た患者さんに対し、持てる医療資源を最大に活かし、当直医の専門性に捕らわれることなく、迅速かつ適切な救急医療を提供することを目指しています。一人でも多くの命を救うため、当院の救急医は今日も戦っています。よろしく願いいたします。



## 院外処方せんの変更について

薬局長 生島 五郎

本年4月より当院から発行される院外処方せんは、お薬の名称表記を一般名(医薬品の成分名)にした院外処方せんに変更となりました。

これにより「先発医薬品」や「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」を患者さんに、より自由に選んでいただく事ができるようになりました。これは、厚生労働省の推進事項であり、ジェネリック医薬品を選択してお薬にかかる費用を少なくする事もできます。各保険薬局(調剤薬局)でジェネリック医薬品の採用品目は異なりますので、お薬の選択は保険薬局の薬剤師と相談してください。

なお、お薬の効果は、あくまで有効成分(主成分)です。この有効成分は先発医薬品と承認を受けたジェネリック医薬品では同じなので、治療学的には同等ということになります。しかし、先発医薬品とジェネリック医薬品では添加物が違う場合があり、患者さんの体質によっては稀にアレルギー反応などの副作用等が出る場合があります。もし、ご不安な点がありましたら主治医、薬剤師に相談してください。

また、医薬品医療機器総合機(<http://www.info.pmda.go.jp/ippan.html>)のホームページで、お薬の情報が入手できますので御覧になってください。



# HCUのご案内

HCU室長 吉岡 伴樹

## ◆重篤な病状への集中治療の現状

心筋梗塞やクモ膜下出血など重篤な病気ががんなどでの大きな手術後の患者さんは、しばしば生命を維持するための人工呼吸器をはじめ補助人工臓器を使用した集中治療が必要になります。当院ではこれら重篤な病状の患者さんは集中治療室（以下ICU）に入室していただき治療します。ICUではトレーニングを受けた看護師が患者さん一人一人を密に観察し、患者さんに装着された医療精密機器の動作監視、薬剤投与のチェックなどを細かく行ない、患者さんが安全に生命危機の状況から回復できるようお手伝いします。このためICUに配置される看護師数は一般病棟より随分と多くなっています。

最近当院のICUでは患者さんの高齢化も影響して、生命危機を脱しても身体機能の回復スピードが緩やで、容易に一般病棟へ移れない患者さんが増加しています。そこで、ICUの機能を補完すべく新たに設置されたのがハイケア・ユニット（以下HCU）です。

## ◆ハイケア・ユニット（HCU）は何をするところ？

HCUはICUと一般病棟との橋渡しをする中間的な病棟で、ICU同様に看護スタッフの数を一般病棟よりも多く配置し集中治療の実施にもある程度対応できます。生命危機を脱しICUから退出された患者さんの治療を継続し、回復をさらに確実にして一般病棟へと引き継ぐのがHCUの主たる役割です。ICUから直接一般病棟へ出る場合、十分な状態安定を待つためHCUを介するよりもICU滞在

期間は長くなります。HCUはICU滞在期間を短縮し、ICUの収容能力を高めません。

さらにHCUにはもう一つ重要な機能があります。それは集中治療の間に衰えた身体機能の回復を図るリハビリテーションを安全に進める場を提供することです。集中治療中はベッド上で絶対安静の状況が続きます。健康なときには活発に動かすことで維持される呼吸・消化あるいは四肢の運動機能も、集中治療に伴う安静で衰えます。この衰えの回復には時間を要し、生命危機を脱して後も長期入院が必要となります。そこで集中治療により生命危機を脱したら、出来るだけ早期からこの衰えを克服するためのリハビリテーションを開始します。生命危機を脱して早々にリハビリテーションを進め安全に離床へつなげることは、HCUの大事な役割です。

## ◆ハイケア・ユニットはスムーズな回復をお手伝いします

当院のICUはHCUの開設に伴いより多くの生命危機の患者さんを治療することが可能となります。静かに治療が進められるICUに対し、活発なベッドサイド・リハビリテーションや嚥下訓練が進められるHCUは動的で活気ある病棟です。当院の集中治療にHCUが加わり、これまで以上に生命危機に関わるような病気や怪我からのスムーズな回復をお手伝いできるものとスタッフ一同張り切っております。





# 糖尿病について

内科副部長 時永 耕太郎

わが国の糖尿病の患者さんの数は、増加し続け現在 1,070 万人と推定されます。しかし治療を受けていない人が約 4 割もおります。高血糖による急性症状がなくても、糖尿病の治療が大切な理由は、高血糖が続くことによる慢性合併症を防ぐことです。慢性合併症には糖尿病に特徴的な細小血管合併症（神経障害、網膜症、腎症）、心血管疾患につながる動脈硬化症があります。また糖尿病は癌や感染症のリスクとしても重要です。糖尿病をきちんと治療をしないと、生活の質（Quality Of Life:以下QOL）を落とし、寿命を短くすることにつながります。

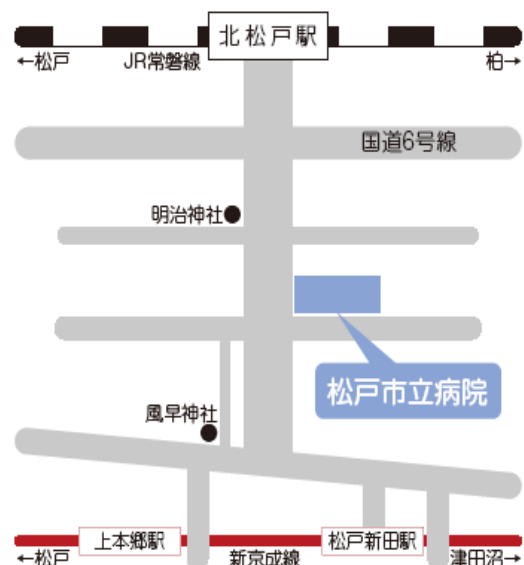
血糖を早い時期にしっかりと管理することの大切さはインスリンの絶対的欠乏状態を生じる“1型糖尿病患者”及び生活習慣病といわれる“2型糖尿病患者”に対する大規模臨床試験により明らかになっています。十分血糖をコントロールすることにより細小血管合併症の発症を抑制することが明確になりました。また、最近、これらの臨床試験において早期に7年～10年間きちんと管理した患者では、その後においても細小血管合併症と動脈硬化症による心血管疾患発症が抑制されるという遺産効果(legacy effect)があることが明らかになりました。

糖尿病の治療薬については、大幅な進歩がみられています。インスリンに関しては、新規のインスリン製剤の開発やインスリンポンプの進歩があり、QOLを落とさず良いコントロールを達成しやすくなりました。内服薬に関しても、選択肢が増え病状にあわせた最適な薬を選ぶことが可能となってきています。メトホル

ミンという薬は、科学的根拠のある薬として見直され特に肥満を伴う患者さんを中心に効果をみせています。最近のトピックスにはインクレチン関連薬があります。食事をした時に腸管から分泌されインスリンの分泌を促すホルモンをインクレチンといいます。これに関連した新しい薬の事です。一つは“GLP-1受容体作動薬”であり、これは注射薬ですが肥満症につながる食欲を抑制する効果があり注目されています。もう一つは、内服で使用可能な“DPP-4阻害薬”です。単独の使用では低血糖がない、体重を増加させにくいなど今までにない利点を持っています。発売以来既に多くの2型糖尿病患者に使われ、患者のQOLや予後の改善に対する効果の証明が期待されています。

QOLを保ち長寿を得るために、糖尿病にならないこと、糖尿病になった場合でも一病息災で早い時期からしっかり治療し継続することが何より大切です。

## 当院までのアクセス方法



- ・常磐線 北松戸駅東口下車 徒歩 10分
- ・新京成線 上本郷駅下車 徒歩 10分



# 当院を受診される患者さんへ 診療予約のご案内

地域連携課

当院宛の紹介状をお持ちの方は、お電話にて診療予約が可能です。

紹介状をお持ちの患者さんは、事前に診療予約が出来ることをご存じでしょうか。各医療機関で、当院宛の紹介状（診療情報提供書）を発行された患者さんにつきましては、事前にお電話をいただければ診療の予約を取ることができます。診療の予約をされますと受付やカルテ準備を事前に行え、また、患者さんは予約されました時間のおおよそ15分前までにご来院いただければ良いため、患者さんの診療までの待ち時間が少なくてすみます。電話予約受付時間、予約電話番号はページ下部に記載してありますので、ご活用ください。

お電話でのご予約の際には次のことをおたずねします。

診療所等

「かかりつけ医」

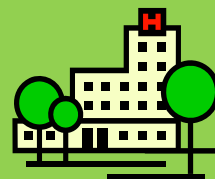


- ① 受診希望の診療科名
- ② 受診希望の担当医名（指定がある場合）
- ③ 患者さんの氏名・性別・生年月日・住所・電話番号
- ④ 紹介元医療機関名・紹介元医師名



紹介

松戸市立病院



逆紹介

## ～市立病院をはじめて受診される方へ～

### <受付時間>

午前8時30分から午前11時まで

### <休診日>

土曜・日曜・祝祭日・年末年始

※休診日が異なる場合があります。詳細はホームページ等をご覧ください。

ホームページ [URL:http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/](http://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/)

## ～紹介状をお持ちの患者さんの電話予約について～

### <受付時間>

午前9時～午後4時

（土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始を除く）

### <電話番号>

047-363-0489

時間帯によっては電話回線が大変混み合いますので、あらかじめご了承ください。